

株式会社 クリーン

環境経営レポート

2023 年度

(取組期間 2023 年5月1日～ 2024 年4月30日)



隠岐の島 ローソク岩

発行日： 2024年7月22日
更新日：

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
主な環境負荷の実績	8
環境経営目標及びその実績	9
環境経営計画の取組結果とその評価	10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	13
緊急事態対応訓練	13
代表者による全体の評価と見直し・指示	13

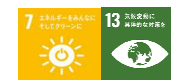


環境経営方針

株式会社クリーンは最終処分まで法令順守に努めます。再資源化を考慮し、適正で安全な処理を推進、隠岐の島の美しい環境保全に取り組みます。建築・解体工事から排出される木くず、伐採工事などで排出される樹木類をメインに、産業廃棄物収集運搬、廃船解体工事など幅広く対応いたします。また、本業である産業廃棄物の収集運搬・中間処理を通じて、島外からのお客さまも安心して、委託していただけるようサポートし、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境課題の解決に向けた活動に自主的・積極的に取り組みます。このことが当社が一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制等を遵守することを第一とします。
2. 電気及び化石燃料使用による二酸化炭素削減に努めます。
3. 自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の再資源化に努めます。
4. 適正な水利用に努めます。
5. 事業を通じて地域の環境保全に全力で取り組みます。
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
7. 経営における課題とチャンスに対応して参ります。



制定日：2022年8月1日

改定日：2022年12月1日

代表取締役 齋藤 功一

組 織 の 概 要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 クリーン
代表取締役 齋藤 功一

(2) 所在地

本社・工場 島根県隠岐郡隠岐の島町都万5229番地
焼却施設 島根県隠岐郡隠岐の島町都万5227番1外
破碎施設 島根県隠岐郡隠岐の島町都万6119番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役 山本 裕美 TEL : 08512-6-2111
担当者 取締役 山本 裕美 TEL : 08512-6-2111

(4) 事業内容

産業廃棄物の収集運搬(積替保管含む)、産業廃棄物処分業、船舶の解体

(5) 事業の規模

法人設立 1997年5月1日
資本金 3,750 万円
売上高 7,261 万円 (2023年度実績)

	本社・工場	焼却施設	破碎施設
従業員	6 名		
延べ床面積	300 m ²		

受託した産業廃棄物の処理量 (2023年度実績)

収集運搬量	89 t		
中間処理量	1,226 t	うち再資源化量	0 t

車両

車種	台数	備 考
4 t ユニック車	1 台	
10 t 深ダンプ	1 台	
11 t ユニック車	1 台	
軽車両	1 台	
合計	4 台	

主要設備 (2022年8月現在)

名称	台数	備考
油圧ショベル (0.7)	1 基	
油圧ショベル (0.45)	2 基	
油圧ショベル (0.25)	1 基	

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
屋内保管施設	28 m ²	1.5 m	
屋外保管施設1	300 m ²	2.5 m	
屋外保管施設2	72 m ²	2.0 m	

(6) 事業年度

5 月 1 日 ～ 4 月 30 日

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 クリーン
対象事業所：本社・工場
焼却施設
破碎施設
対象外：なし
活動：産業廃棄物の収集運搬(積替保管含む)、産業廃棄物処分業、船舶の解体

□ 事業の紹介

処理施設のご案内



処理施設



【焼却・破碎】

焼却施設1基4.8t / 1日 (10時間)

破碎施設1台16.56t / 1日 (8時間)

許可品目 木くず・紙くず・繊維くず
(破碎処理は木くずのみ)

木くずにつきましては、長さ概ね2メートル・直径概ね20センチに切ってくださいようお願いしております。解体材につきましては、蟻害等の金物は外す、長い釘はたたき、一般廃棄物の混入がないこと、またアスファルトシングルやラス入りモルタルなどの付着物などは外していただくようお願いしております。

収集運搬



収集運搬エリア

収集運搬エリアは隠岐の島町です。
※島前エリアについてはご相談ください。

搬入先は鳥根県東部・鳥取県西部です。
※処分先についてはお問い合わせください。



処理許可取扱品目

燃え殻、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、がれき類、石綿含有廃棄物および水銀使用製品産業廃棄物

【特別管理品目】

廃油、廃酸 (pH2.0以上)、廃アルカリ (pH12.0以上)、感染性廃棄物、廃石綿

基本的に木くず、繊維くず、紙くずは当社の中間処理施設で焼却および破碎いたします。
その他の品目については、当社積替え保管施設を経由し、それぞれ当社が提携している本土の中間処理施設に搬入いたします。(お客さまと処分先の契約が必要です)

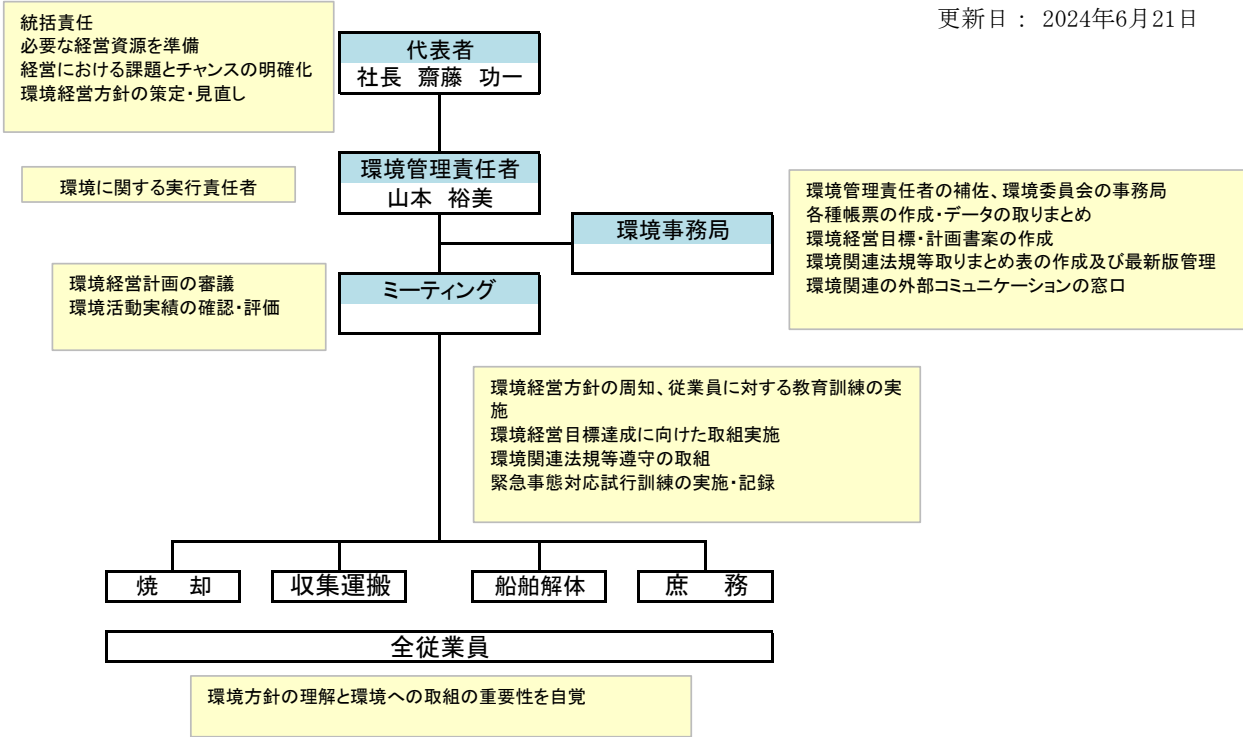
船の解体

2022年春 4.7tの船の解体をご依頼いただきました。(クレーンならびに船運場所の協力：御会社様)



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2024年6月21日



焼却施設と社員

□許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい
島根県	03210051255	令和4年11月11日	令和9年11月10日	有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
鳥取県	03104051255	令和3年4月26日	令和8年4月25日	無		○	○					○		○	○	○			

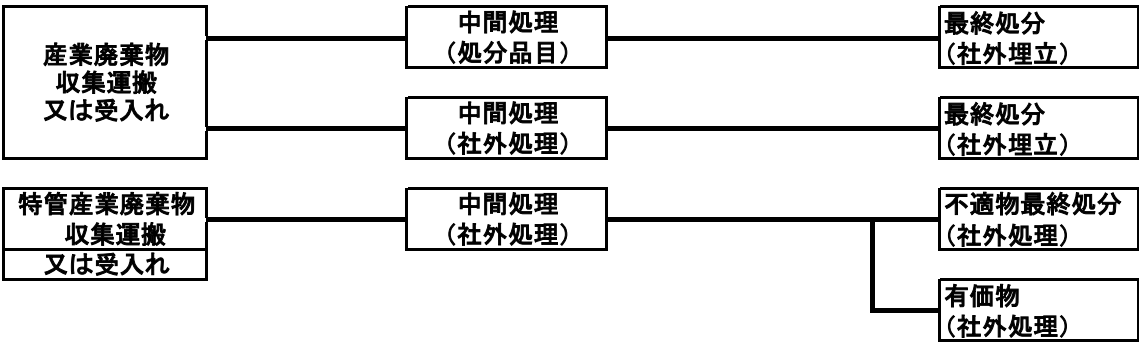
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類												
					汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃石綿							
島根県	03260051255	令和3年5月30日	令和8年5月29日	有		○	○	○	○	○							
鳥取県	03104051255	令和3年4月26日	令和8年4月25日	無		○	○	○	○								

産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類									
				中間処理	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず						
島根県	03220051255	令和4年11月19日	令和9年11月18日	焼却 破碎		○	○	○						

□ 廃棄物処理フロー

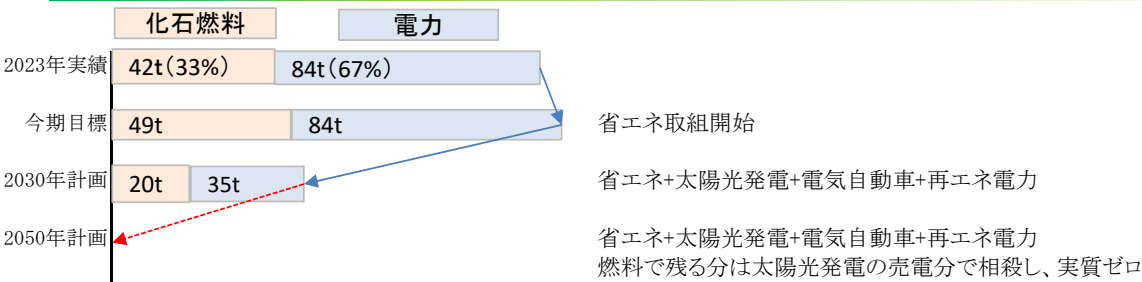


主な環境負荷の実績

項 目	単位		2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		134,623	125,909
受託収集運搬量	トン		49	89
受託中間処理量	トン		1,831	1,226
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン		0	74
産業廃棄物排出量	トン		184	0
総排水量	m ³		—	—
※ 電力の二酸化炭素排出係数（調整後）			0.521	0.521
			中国電力	中国電力

※ 2022年度のデータは期初から期の途中まで

※ 水使用量は山水と河川水のため、数量把握ができません。



再エネ電力採用



太陽光発電設置



EVトラック導入

環境経営目標及びその実績

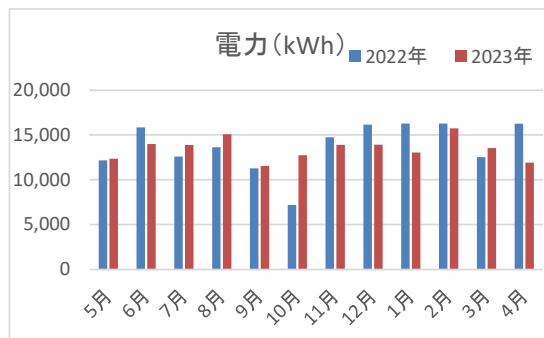
年 度 項 目		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
			上段：通期	下段：4月末まで			
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	84,791	83,943	84,184	×	83,095	82,247
	基準年度比	2022年	99%	99%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO2	0	0	179	×	0	0
	基準年度比	2022年	99%			98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	49,832	48,835	41,546	○	48,337	47,838
	基準年度比	2022年	98%	83%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計 (目標値設定はしません)	kg-CO2	134,623	132,778	125,909		131,432	130,086
一般廃棄物の削減	kg	114	113	95	○	91	80
	基準年度比	2022年	99%	84%		80%	70%
有価物の販売向上	千円	1,954	1,974	634	×	1,993	2,013
	基準年比	2021年	101%	32%		102%	103%
環境に配慮した産廃処分	行動目標(次項による)						
課題を解決しチャンスを活かす取組み	行動目標(次項による)						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成

活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	未達成。EA21を取り組み始めたが、社員全員に電気使用量削減に対する重要性を周知することができた。今後も、目標達成手段を全社員に周知して、電気使用量の削減に努めます。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・ノー残業デーの実施	○	
・処理工程の待機時間短縮	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	



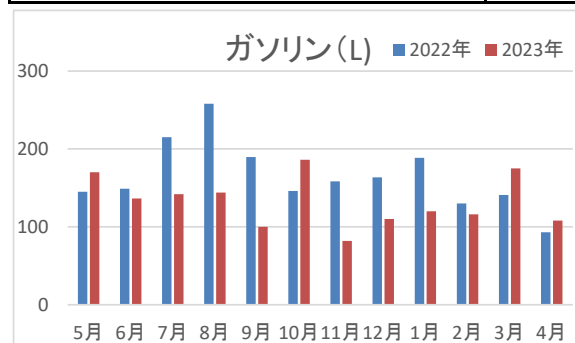
取組紹介欄



啓発表示

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	12,170	15,838	12,593	13,630	11,280	7,186	14,743	16,150	16,279	16,279	12,528	16,255
2023年	12,336	13,985	13,872	15,082	11,539	12,739	13,896	13,908	13,037	15,730	13,534	11,923

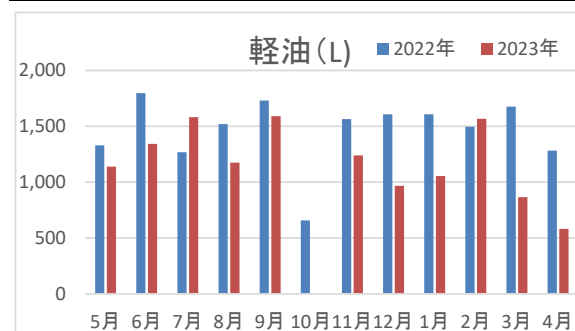
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	達成。今後は、より一層のエコドライブに努めると同時に、目標の基準年を見直します。
・エコドライブの徹底	○	
・効率的なルートで配送	○	
・処理設備機器のメンテナンス実施	○	



取組紹介欄



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	145	149	215	258	190	146	158	164	189	130	141	93
2023年	170	136	142	144	100	186	82	110	120	116	175	108

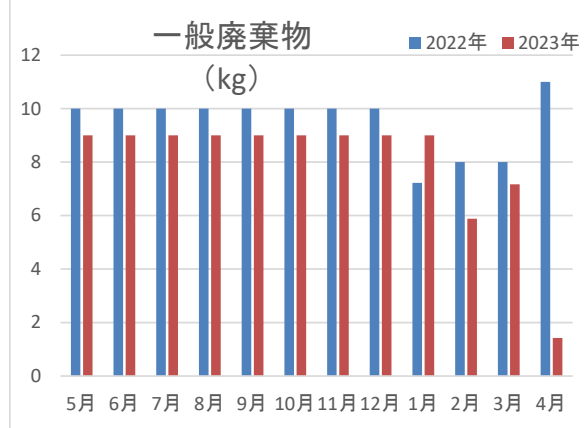


取組紹介欄



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	1,330	1,797	1,268	1,520	1,731	658	1,565	1,607	1,607	1,496	1,676	1,282
2023年	1,139	1,342	1,582	1,175	1,590	0	1,239	967	1,054	1,568	866	582

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。今後について引き続き、排出量データの精度を高めていくようにする。
・ 分別の徹底	○	



取組紹介欄



一般廃棄物の分別徹底

一般廃棄物の排出記録

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	10	10	10	10	10	10	10	10	7	8	8	11
2023年	9	9	9	9	9	9	9	9	9	6	7	1

有価物の販売向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	目標未達成。使用済みエアコンの回収強化、大型工事の受注、引き受け品目の拡大及び分別の徹底により、有価物販売する金属くずが増加している。今後とも、目標達成に基づき、有価物回収向上に努めるようにする。
・ 有価物の精緻な分別実施	○	
・ 有価物の購入促進	○	
・ エンジン販売強化	○	

取組紹介欄



金属くずの分別徹底

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	全員に対して、水資源の重要性を周知することで、目標達成手段について、実行していくことができた。今後とも、節水に努めてまいります。
・ 節水弁取り付け	○	
・ 自動水栓取り付け	○	
・ トイレに擬音装置取り付け	○	

取組紹介欄



節水啓発表示

環境に配慮した産廃処分	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 作業開始前の車両点検（収集運搬）	○	活動計画通りに、環境配慮して産廃処分を行うことができた。今後も継続して、活動に努めていく。
・ エコドライブの推進（燃料使用量は別項目で実施）	○	
・ 車両の清掃	○	
・ 法令基準値の遵守のための分別遵守（処分）	○	

取組紹介欄



点検（指差し確認）



エコドライブ推進

課題を解決しチャンスを活かす取組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 技術の継承	○	計画した活動計画について、すべて実施することができた。今後とも経営に計課題を明確にしていき、課題を解決しチャンスを活かす取り組みに努めます。
・ 置場 5Sの浸透	○	
・ 企業PRによる顧客獲得	○	
・ 事業拡大のための資金調達、人材確保	○	

取組紹介欄



5Sの浸透



技術の継承

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）、産廃の保管
道路運送車両法	車両の大きさ・積載重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限、アルコールチェック
騒音規制法	空気圧縮機（11kW×1台）、集塵機、破碎機
水質汚濁法	油類の流出事故
消防法（危険物）	危険物の保管、可燃物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアドライヤー
労働安全衛生法	重機、溶接機 始業前点検、講習修了証の携帯
大気汚染防止法	焼却施設
ダイオキシン類特措法	焼却施設

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

取組み期間中は、苦情・要請等はなかった。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024年4月11日	■実施場所：本社・工場
■参加者： 社員全員	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 火災対応手順書に基づいて、適切に訓練を行うことができた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 2024年4月11日	■実施場所：本社・工場
■参加者： 社員全員	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 油流出対応手順書に基づいて、適切に訓練を行うことができた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

本格的に取組開始した9月以降では、電力、一般廃棄物が目標達成となっている月が多く取組の成果がでている。一方、自動車燃料、水使用量は未達成月が多く、取組の浸透ができていない。理由としては湯水続きで山水の貯水ができず、河川に1日数回汲みに行くことが増えたためであり、2022/12今後、強化を図っていく。

カーボンニュートラルやSDGsへの取組が社会的課題となっていることを踏まえ、エコアクション21を活用して、これらの課題解決に向けて、全社を挙げて推進していく。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり